

梅雨も近づき、季節の変化を感じる日々ですね。天候の急変にはご注意ください。



県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979

協和園芸4Hクラブ こだまスイカPR会実施！！

5月4日に、協和園芸4Hクラブがアクアワールド茨城県大洗水族館で「こだまスイカPR会」を開催しました。クラブ員6名が参加し、試食やパンフレットの配布によるこだまスイカのPRを行うとともに、こだまスイカ、イチゴ、キュウリ、フルーツマト等の地場農産物の即売会も行いました。



今年のこだまスイカは低温により着果に苦労したものの、試食をした方々からは、「こんなに甘いスイカは初めて！」と大好評でした。

当日はクラブ員の積極的な呼びかけにより、筑西市・桜川市のこだまスイカを多くの消費者にPRすることができました。

こだまスイカ女性の会 食育講座（保育園）開催！！

4月22日に、筑西・桜川こだまスイカ産地女性の会7名が、桜川市の岩瀬東部保育所で、日本一の生産量を誇るこだまスイカについて食育講座を実施しました。講座では、最初に園児たちと「お野菜上下どっち？」クイズを行い、園児達との距離を縮め、その後、こだまスイカが種をまいてからいくつもの手間をかけて成長し、収穫するまでを自作のパネルシアターで伝えました。園児達は、クイズが出題されると「ハイ！ハイ！！」と元気よく回答し、パネルシアターでは、会員の分かりやすい説明と、持参したこだまスイカのツルや成長ごとの実に触れ、こだまスイカが大きく成長していく過程に興味を持ったようでした。

シアターの後は、切り分けたこだまスイカを園児たちと一緒に食べました。園児たちからは「甘い！」「おいしい！！」という声があふれ、旬のこだまスイカを存分に味わったようでした。同会では、生産量日本一の産地としてこだまスイカのおいしさを広めるためにこれからも食育講座を続けていきます。



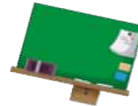
～ヒメトビウンカの本田防除を徹底しましょう～

県西地域を中心にイネ縞葉枯病の発生が増加しています。イネ縞葉枯病を防除するためには、ウイルスを媒介するヒメトビウンカを防除する必要があります。育苗箱施薬剤の処理と併せて本田での防除を行い、減収を防ぎましょう。

ヒメトビウンカの本田での防除適期は、幼虫発生時期である6月下旬～7月上旬です。特に幼虫が増加する6月20日～25日頃の薬剤散布が効果的です。この時期に適用のある薬剤を処理して下さい。出穂期以降の防除は効果が低いので、早めの防除を心がけて下さい。本年のヒメトビウンカの発生状況は、県病害虫防除所のホームページで確認できますので、防除時期の参考にしてください。

※防除方法や薬剤についてのお問い合わせは JA 各支店か、普及センターへお願いします。

～農業学園生募集中！！～



普及センターでは主に就農して間もない方を対象に、農業の基礎的な知識・技術や先進事例を学ぶ農業学園を開催しています。講義や視察研修をとおり、栽培技術や農薬の適正使用、土づくり等、毎年10回程度の講座を実施しています。農業を学ぶだけでなく、同年代の人との交流や情報交換をする良いきっかけにもなるはずです。

農業学園でみんなと楽しく学んでみませんか？皆さんの参加をお待ちしています！詳細は（TEL 0296-24-9206 担当：阿久津）までお問い合わせください。



いばらき営農塾 平成27年度受講生募集中！！

いばらき営農塾は、これからの農業を担う方々を支援する目的で開講している研修です。基礎的な農業技術を体系的に学べる講義と、パイプハウスの組み立て方、野菜の栽培管理等の実習を行っています。

①営農支援研修（Bコース）

茨城県において新たに農業を始めようとする方や、始めて間もない方で、農業経営を本格的に志す方（おおむね45歳まで）

期間：12月2日～3月12日（週2回、計27回） 水曜日 18:00～20:30 土曜日 9:30～15:30

②定年帰農者等支援研修（野菜入門コース）

茨城県において定年帰農等により新たに農業を始めようとする方や、始めて間もない方で、農産物を販売し収入を得ようとしている方（おおむね65歳まで）

期間：9月2日～11月28日（週2回、計23回） 水曜日 18:30～21:00 土曜日 9:30～15:30

各コースとも、農業大学校本校（茨城町長岡）での開催となります。カリキュラム等、詳細につきましては、農業大学校研修科（TEL 029-292-0419）か、普及センターまでお問い合わせ下さい。

普及員のひとごと…小島 謙治郎

4月に結城普及センターから異動してきました。合同庁舎4階から見る筑波山の美しさとその裾野に広がる水田地帯をわたる薫風に、メロン畑に囲まれた結城の事務所との違い、地域農業の違いを改めて感じています。地域の特長を活かした農業経営が展開できるよう仕事に取り組みますのでよろしくお願いいたします。

～編集後記～

ハーブティーが飲みたくて庭にカモミールをまきました。予想以上に種が小さく、大きくなるか不安でしたが、今では沢山の芽が出ています（谷口）

皆様のご意見、情報お待ちしております。